



# 国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し 中南米セット 小学校高学年向 資料解題

この冊子は、学校図書館セット貸出しに含まれる本の解説です。  
本の紹介、展示の作成や、学校図書館での選書などにご利用下さい。

No	書名	出版社	出版年	請求記号	関連国・地域
1	国別大図解 世界の地理 5 南北アメリカの国々	学研教育出版	2010	Y2-N10-J67	—
2	南・北アメリカの音楽 (※CD付き)	ポプラ社	2003	YU81-H55	—
3	世界のスポーツ 1 南北アメリカ	学習研究社	2005	Y12-N05-H50	—
4	南アメリカの遊び	ポプラ社	1998	Y12-M98-228	—
5	みんなの世界遺産 7 (北アメリカ・南アメリカ・オセアニア)	岩崎書店	2000	YU81-155	—
6	探検と発掘シリーズ マヤ	評論社	1986	Y2-838	—
7	コロンブスの航海	評論社	1979	Y2-409	—
8	ダーウィン (伝記世界を変えた人々 13)	偕成社	1993	Y3-1101	—
9	メキシコ (体験取材!世界の国ぐに 3)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H41	メキシコ
10	コスタリカ (体験取材!世界の国ぐに 5)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H43	コスタリカ
11	ブラジル (体験取材!世界の国ぐに 6)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H44	ブラジル
12	チリ (体験取材!世界の国ぐに 7)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H45	チリ
13	ブラジルと出会おう	国土社	2001	Y1-N01-66	ブラジル
14	ブラジルのかわいいデザインたち	ビエ・ブックス	2008	DH432-J34	ブラジル
15	アマゾンからの手紙:10歳のブラジル移民	新日本出版社	2003	Y8-N04-H90	ブラジル
16	アフリカ・南アメリカの鉄道	旺文社	2006	Y1-N06-H326	—
17	カリブ海の宝石「モラ」	バレード	2007	KB16-H1108	パナマ
18	学校に行けないはたらき子どもたち 3 中南米	汐文社	2004	Y1-N05-H5	—
19	スペイン・ポルトガルの文字と言葉 (世界の文字と言葉入門 11) (※CD付き)	小峰書店	2005	YU81-H343	—
20	ジャングル (絵本図鑑シリーズ 14)	岩崎書店	1993	Y11-4957	コスタリカ
21	アマゾン・アマゾン	福音館書店	1998	Y2-M99-7	ブラジル
22	ガラパゴスがこわれる	ポプラ社	2007	RA172-J1	エクアドル
23	熱帯雨林のは虫類・両生類	鈴木出版	2003	Y11-N03-H223	—
24	熱帯雨林の昆虫・クモ	鈴木出版	2003	Y11-N03-H224	—
25	メキシコ:タコス (国際理解にやくだつNHK地球たべもの大百科7)	ポプラ社	2000	Y2-N00-76	メキシコ
26	世界の料理いただきまーす。: ベルー・アルゼンチン	アリス館	2004	Y1-N04-H182	—
27	南北アメリカのお菓子	岩崎書店	2005	Y1-N05-H129	—
28	むこう岸には	ほるぷ出版	2009	Y18-N09-J188	チリ
29	La otra orilla (スペイン語) (むこう岸には)	Ediciones Ekaré	2007	Y17-B10035	チリ
30	やんちゃなマルキーニョ	静山社	2009	Y18-N09-J421	ブラジル
31	O menino maluquinho (ポルトガル語) (やんちゃなマルキーニョ)	Melhoramentos	2000	Y17-B10571	ブラジル
32	Lampiao & Lancelote (ポルトガル語) (ランビアンとランスロット)	Cosac Naify	2006	Y17-B8784	ブラジル
33	Cambalhota (ポルトガル語) (とんぼ返り)	Companhia das Letrinhas	2003	Y17-B3632	ブラジル
34	La niña de la Calavera (スペイン語) (どくろの少女 マブチェ人の昔話)	Editorial Amanuta	2006	Y17-B10765	チリ
35	カモメがおそう島: 巨大石像物語	文研出版	1999	Y9-M99-193	チリ
36	アンデスの少女ミア	BL出版	2009	Y18-N09-J307	南アメリカ
37	うさぎのみみはなぜながい	福音館書店	1962	児726-Ki287u	メキシコ
38	クリスマスまであと九日	富山房	1974	Y18-N04-H157	メキシコ
39	ペルー・ボリビアのむかし話	偕成社	2000	Y9-N04-H357	—



International Library of Children's Literature

国立国会図書館 国際子ども図書館

## 国別大図解世界の地理 5 南北アメリカの国々

井田仁康 監修

学研教育出版 2010年

北米2国と中南米の主な19の国々について、首都、人口などの基本データとともに自然や産業、歴史などをカラー写真や図を多用して一目で国の特色がわかるように紹介している。巻頭に南北アメリカの地図と基本データ一覧があり、中南米全33カ国を比較できる。特集「世界の国々探検隊②」では、中南米の三文明を見開きでコンパクトに解説している。

## 南・北アメリカの音楽（国際理解に役立つ世界の民族音楽 6）

千葉泉 著；こどもくらぶ 編

ポプラ社 2003年

主に中南米の多様な民族音楽を紹介。各国地域の風土・文化や歴史の説明を読むと、先住民族、征服者のヨーロッパの人々、奴隷として連れて来られたアフリカの人々が影響し、サンバやタンゴのリズムや音楽が育まれてきたことがわかる。ペルーのケーナ（縦笛）やブラジルのアタバーキ（打楽器）等、多くの民族楽器の写真を掲載。付録CDで中南米の音楽をぜひ聴かせてほしい。索引付き。

## 世界のスポーツ 1 国際理解に役立つ！（南北アメリカ）

友添秀則 監修

学習研究社 2005年

南北アメリカで盛んなサッカー、キューバやドミニカで人気の野球、バスケットボールなどの歴史、ルール、エピソードを魅力ある写真や挿絵を交えて解説する。ブラジルのサッカーの章での、サポーターたちの姿やサッカースクール、素質のある子どもたちを無料で指導し、育てていく仕組みは興味深い。また、先住民の伝統的な民族スポーツについてもイラスト入りで紹介する。巻末に索引と参考文献あり。

## 南アメリカの遊び（国際理解にやくだつ世界の遊び 6）

大貫美佐子 監修

ポプラ社 1998年

子どもたちにとって身近な遊びを国ごとに紹介するシリーズの1冊。遊び方が図解されており、ルールの説明も詳しい。遊びの中には世界共通に存在するものがある。この本にもブラジルの「アマレリーニャ」、チリの「ルーチェ」というケンパ遊びがある。日本の遊びと比較し、実際に遊んでみるのも、国際理解を深める上でおもしろい。

## 総合学習に役立つみんなの世界遺産 7 北アメリカ・南アメリカ・オセアニア

城戸一夫 監修；倉部きよたか 著

岩崎書店 2000年

「ナスカの地上絵」（ペルー）やキューバの旧市街などの文化遺産、アルゼンチンの巨大氷河等の自然遺産、マチュ・ピチュ歴史保護区の複合遺産など中南米と北米・オセアニアの世界遺産を含めた30項目を大判のカラー写真で紹介。各項目には解説のほか、参考図書や関連文献が掲載されている。巻末に国名の五十音順別の世界遺産リストを付す。

## 探検と発掘シリーズ 1 マヤ

ジャン・パオロ・チェゼラーニ 文；ピエロ・ベントゥーラ 絵

評論社 1986年

ジャングルの中で密かに発達したマヤ文明は未だ謎に包まれている。本書の前半は、その遺跡発掘に乗り出した二人の冒険家の苦難と成功の物語、後半は天文学や数学に長けていたマヤ文明の発展と終焉の謎について書かれている。水彩画で描かれた緻密な挿絵により、建物の建造方法や結婚式、成人式の様子など村での生活が再現され、理解を深める。

## コロンブスの航海

ピエロ・ベントゥーラ 絵；ジアン・パオロ・チェゼラーニ 文；吉田悟郎 訳  
評論社 1979年

コロンブスは、黄金の島ジパングを目指し西へ航路をとり、新大陸を発見した。当時の船や乗組員の服装、港町の様子を緻密で動きのある挿絵とともに解説する。当時の地理概念、初めに到着した島の原住民の暮らしについても書かれている。コロンブスの航海でトウモロコシ、ジャガイモやタバコなどが発見され、世界中に広まった。一方、現地にとっては暴力と略奪により征服される数百年の植民地の歴史の幕開けでもあった。

## ダーウィン：生物は、自然選択によって進化してきたという進化論をとらえ、世界観を変えた博物学者（伝記世界を変えた人々 13）

アンナ・スプロウル 著；乾侑美子 訳  
偕成社 1993年

1831年から5年をかけてビーグル号で世界一周の航海をしたダーウィンは、南米での生き物や化石との出会いを経て、進化論を唱えるに至る。当時の科学界の様子、『種の起源』が出版されるまでの葛藤、出版後の論争などから著名な博物学者の一生を描く。また、学者に生涯忘れられない経験と科学界を変えるきっかけを与えた南米の自然の力を、多くの写真とともに感じることができる。

## 体験取材！世界の国ぐに 3 メキシコ

吉田忠正 文・写真；高山智博 監修  
ポプラ社 2006年

メキシコの地理、文化、都市での生活、高地の先住民の暮らしなどが豊富な写真で解説する。料理では、日本でも知られるタコスや食用になるサボテンのステーキを、スポーツでは、サッカーのほか、善人役と悪役がいるプロレスが人気と紹介されている。メキシコ人と日本人と一緒に学ぶ学校ではお互いの言葉を勉強し、交流イベントを行っている。巻末に日本とメキシコの交流史、基本データと索引あり。

## 体験取材！世界の国ぐに 5 コスタリカ

渡辺一夫 文・写真；五十嵐義明 監修  
ポプラ社 2006年

軍隊を捨て、自然豊かで、子どもが大切にされ、医療費が無料の中南米の小国、コスタリカ。写真が多く、料理や人気のスポーツ、学校生活など人々の暮らしぶりが丁寧に書かれている。現地の子どものたちのレポートからは、パレードの参加や乳絞り、漁など暮らしぶりが伝わる。巻末に国の歴史と基本データ、索引あり。

## 体験取材！世界の国ぐに 6 ブラジル

岡崎務 文・写真；矢ヶ崎典隆 監修  
ポプラ社 2006年

日本の反対側に位置するブラジル連邦共和国について、網羅的に知ることができる一冊。自然、人種、産業、文化など、あらゆる分野について、実際の取材をもとに丁寧な文章で伝える。写真も豊富で、日系ブラジル人や現地の日本人学校に通う子どもたちの声を載せたコラムを紹介すると一層この国を身近に感じてもらえるだろう。巻末に、データ、索引付き。

## 体験取材！世界の国ぐに 7 チリ

佐々木ときわ 文・写真；林竹人 監修  
ポプラ社 2006年

南北に細長い地形のチリは、場所により自然環境が異なり、南米で最もヨーロッパ文化の影響が強

い。そんなチリの人々の生活や自然などを首都、中央部、北部、南部、地形の順に豊富なカラー写真で紹介する。都市部では、学校生活と現地の生徒へのインタビューや日本人学校の生徒の声も紹介する。巻末に国の歴史と基本データ、索引あり。

## ブラジルと出会おう

谷啓子，富本潤子 編著  
国土社 2001年

南米出身者への教育問題に取り組んでいる「外国人児童生徒保護者交流会（IAPE）」ポルトガル語教室が編集。ブラジルの記念日やお祭り、子どもの好きな軽食や菓子の作り方、遊び、歴史や日本との関わりなどが書かれている。ポルトガル語の章では、カードを作って遊びながら言葉を学べる。ブラジルの日本人学校での楽しい生活と日本の学校に編入したブラジル人の子どもや編入先の先生から見た記事があり、異文化交流の難しさも見えてくる。

## ブラジルのかわいいデザインたち

植嶋秀文，井岡美保 著  
ピエ・ブックス 2008年

ブラジルの雑貨を中心に日常よく目にする品物の写真を並べて紹介する本。大人向けの本だが、カラフルな品物が多いので、写真を見るだけでも楽しめる。お菓子、飲み物、石鹸やシャンプーなどの日用品を日本と比べてみるのも面白いだろう。洗練されたデザインの国旗グッズも珍しい。切手やサッカーのユニフォームなど子どもの目をひく物からブラジルにつなぐきっかけに用いてもよいだろう。

## アマゾンからの手紙：10歳のブラジル移民

山脇あさ子 作；宮崎耕平 絵  
新日本出版社 2003年

昭和5年に、10歳でブラジルに移民した小野正さんの体験記を基にしたフィクション。ブラジルへの船旅に始まり、アマゾンでの生活、大熱病など、過酷な状況を生きた家族の様子が描かれる。小学生にも読みやすい読み物なので、日系ブラジル人への理解を深めるきっかけに良いだろう。

\*国立国会図書館では、ホームページにて国立国会図書館電子展示会「ブラジル移民の100年」を提供しております。合わせてご覧ください。<http://www.ndl.go.jp/brasil/index.html>

## アフリカ・南アメリカの鉄道：ナイルエクスプレス・アンデスの鉄道

秋山芳弘 著；こどもくらぶ 編  
旺文社 2006年

アフリカと南米の主な国の鉄道を、車両の写真とともに掲載する。「アンデスの鉄道」の章では、最高で4,800mのアンデス山脈を走る鉄道のしくみや酸素濃度をあげるための車両の工夫について解説する。また、主な国の鉄道の概要や経営状況を簡単に紹介する。ボリビアでは日本製の車両が使われ、アルゼンチンでは日本の地下鉄車両が走っているのは興味深い。巻末に鉄道関係の専門用語解説付き。

## カリブ海の宝石「モラ」：前田佳子コレクション

前田佳子 著  
パレード 2007年

カリブ海に浮かぶパナマ共和国サンブラス諸島に住む先住民族、クナ族が作る民族衣装モラの写真集。鮮やかな色使いやユニークな文様のアップリケされたモラは、見るだけでも楽しい。日本で長年モラを教えてきた筆者がクナ族を訪ねた生活体験記も含まれており、カリブ海に住んできた人々の文化を感じることができる。

## 学校に行けないはたらく子どもたち 3 中南米

田沼武能 写真・文

汐文社 2004年

貧富の差が大きく生きるために働かざるを得ない、多くの中南米の子ども達の写真集。彼らは「早く親の生活を助けてあげたい」と思い、貧しくとも明るく逞しく生きている。各写真には、写真家の眼を通した説明が一言ずつ添えられ、風景を交えた子ども達の様子がよく伝わる。巻末に、地理や歴史等の解説とキーワード索引あり。

### スペイン・ポルトガルの文字と言葉（世界の文字と言葉入門 11）

黒澤直俊 監修；こどもくらぶ 著

小峰書店 2005年

大航海時代を経て、スペイン語とポルトガル語は、中南米を主として世界中で使われている。この本では文字やあいさつの表現の他にも、食べ物など、生活に密着した言葉が写真とともに紹介されている。中南米の人が数多く暮らす日本の街中で見かける多言語の看板写真など、文字からその国の文化に親しむことができる。CD付き。

### ジャングル（絵本図鑑シリーズ 14）

松岡達英 作

岩崎書店 1993年

コスタリカの熱帯雨林で、多種多様な生物が調和して生きている様子を紹介する。鮮やかな絵は、精密かつ写実的で、読んでいるうちにジャングルを探検している気分になる。著者がスカンクをトイレから観察する様子など、各々の絵には著者が現地で観察した内容が説明され、わかりやすい。あとがきでは、森林伐採の現状や自然保護の大切さを訴えている。見返しに現地でのデッサンとメモがあり。

### アマゾン・アマゾン（たくさんのふしぎ傑作集）

今森光彦 文・写真

福音館書店 1998年

熱帯雨林から砂漠まで、世界中の辺境地への訪問を重ね、取材をつづける著者。今回はアマゾンでしか見ることができない、めずらしくも不思議な昆虫たちに出会うために旅をし、自給自足の生活をおくる一家と生活を共にする。迫力のある数々の写真とともに、アマゾンの大自然とそこに暮らす人々の姿を文章で綴った本書は、生活感にあふれ、昆虫や植物の様子も鮮明で、自然に興味を抱く子どもたちを魅了するだろう。

### ガラパゴスがこわれる

藤原幸一 写真・文

ポプラ社 2007年

南米エクアドルにある楽園ガラパゴス諸島。16年間ガラパゴスを撮り続けた著者は、生き物が人間によって危機に直面する様子を色鮮やかな写真で伝える。しかし「こわれる」環境問題に留まらない。悲惨な現状を知るのみでなく、人間の知恵を使い未来へ行動することを示唆する一冊。子どもたちに「ガラパゴス森再生プロジェクト」を紹介すると、現在も続く活動が理解できるだろう。巻末に英文併記で各写真の解説あり。

### 熱帯雨林のは虫類・両生類（地球をささえる熱帯雨林 4）

エドワード・パーカー 写真と文；WWF ジャパン日本語版 監修

鈴木出版 2003年

アマゾンの森には世界的に珍しいは虫類や両生類が生息する。カエルの毒で鎮痛剤を作り、トカゲの尾が再生するしくみから移植医療の研究をする。食用や皮革目当ての捕獲や、環境汚染による熱帯雨林の破壊が生き物に与える影響についての記述もある。写真にインパクトがあるので、アマゾンに興味を持たせるきっかけによいだろう。

## 熱帯雨林の昆虫・クモ（地球をささえる熱帯雨林 5）

エドワード・パーカー 写真と文；WWF ジャパン日本語版 監修  
鈴木出版 2003年

アマゾン川を中心とする中南米の熱帯雨林には、極端に大きいものや小さいもの、貴金属のように輝くなど珍しい生き物が多数生息する。生き物が過酷な熱帯雨林で生き抜くための寄生等の知恵には目を見張る。また熱帯雨林の破壊が、生き物に与える影響も述べられる。虫好きの子どもたちに鮮やかな写真を見せ、中南米への興味につなげてほしい。巻末に索引付き。

## フィリピン：ココヤシ料理 メキシコ：タコス（国際理解にやくだつ NHK 地球たべもの大百科 7）

谷川彰英 監修  
ポプラ社 2000年

日本との交流が江戸時代にまで遡るメキシコでは、日系人が数多く暮らす。この国では、サボテンが野菜として売られている。主食トルティーヤの原料のとうもろこしやトマト、いんげん豆は、この地域からヨーロッパに伝わり、世界中に広まった。この本を通じ、日本でも知られてきたタコスの作り方、食べ方、食文化を知ること、メキシコが身近に感じられるだろう。

## 世界の料理いただきまーす。：ペルー・アルゼンチン

尾崎曜子 編・絵  
アリス館 2004年

白いご飯の中に具が隠れているペルー料理「おたのしみごはん」、牛肉にパン粉をつけたアルゼンチン焼肉「ミラネッサ」等の郷土料理がカラー写真で紹介されている。国の特徴やあいさつなど言葉の項もあり、その国への理解も深まる。作り方は、柔らかいタッチの絵で親しみやすく、簡単にできそうで作りたいくなる。学校の授業や家庭で実際に作ると楽しいだろう。

## 南北アメリカのお菓子（どんな国？どんな味？世界のお菓子 6）

服部幸應，服部津貴子 監修・著  
岩崎書店 2005年

世界各国の伝統的なお菓子を紹介したシリーズ。お米をミルクで煮た「アロス・コン・レチュエ」やアンデス原産のかぼちゃやさつまいもを使ったドーナツ「ピカロネス」など南北アメリカに伝わるお菓子 10 種類のレシピを紹介。写真がきれいで、子どもの興味をひく。アンデス原産の野菜が世界中に伝わった理由や、南米各国の食生活など、お菓子の説明に加えた食文化に関する説明も面白い。巻末に用語説明と索引付き。

## むこう岸には

マルタ・カラスコ 作；宇野和美 訳  
講談社 1995年

## La otra orilla（スペイン語）

Marta Carrasco Ediciones Ekare 2007

チリの絵本。川辺に住む女の子は、母からむこう岸に行かないと言われていた。ある日、対岸の男の子の誘いで川を渡る。住んでいる人々の髪や肌の色も服装も自分達とは違っていたが、焼き立てのパンからは同じ匂いがした。二人はいつか川に橋をかけて、行き来したいと願う。2008年国際児童図書評議会オナーリスト賞絵画部門受賞。

## やんちゃなマルキーニョ

ジラルド 作；松本乃里子 訳  
静山社 2009年

## **O menino maluquinho (ポルトガル語)**

Ziraldo.

c2000 Melhoramentos

ブラジルで 1980 年の初版以来、250 万部の発行数を誇り、親から子へ読み継がれて来た絵本。元気いっぱい何でも興味を示すマルキーニョは、作者の幸せな子ども時代の回想である。サッと飛び跳ねるようなタッチの漫画風な絵が、マルキーニョのやんちゃぶりとよく合い、ブラジルの男の子の日常がわかる。ブラジルでは、続編も出されシリーズ化している。

## **Lampiao & Lancelote(ポルトガル語)**

ランピアンとランスロット\*

Fernando Vilela.

Cosac Naify c2006

中世のアーサー王物語に登場する英国の騎士ランスロットが、20 世紀前半のブラジルに迷い込む物語。初めにランスロット、次にブラジルの盗賊団長ランピアンが登場する。黒地に銀色と銅色でスタンプを使った大胆な構成の絵は、迫力があり、架空の世界を鮮やかに見せる。2007 年ボローニャ国際児童図書賞ニューホライズンの部の優秀賞受賞など国際的な評価も高い作品。

\*: タイトルは参考訳です

## **Cambalhota(ポルトガル語)**

とんぼ返り\*

Ricardo da Cunha Lima ; ilustracoes de Mariana Massarani.

Companhia das Letrinhas 2003

ブラジルの詩の絵本。工場長が発明した座面が上下し、健康にもよく、嫌な客を追い払うこともできるという「自動椅子」や町の交通問題を解決するために、市役所がしゃべる標識を設置する「おしゃべりな標識」など身の回りのものを題材とした楽しい詩が並ぶ。表情豊かな絵は、ユーモアにあふれカラフルで詩の理解を助ける。2006 年国際児童図書評議会オナーリスト賞絵画部門受賞。

\*: タイトルは参考訳です

## **La niña de la calavera : cuento basado en un relato mapuche (スペイン語)**

どくろの少女 : マプチェ人の昔話\*

Marcela Recabarren; ilustraciones, Raquel Echenique

Editorial Amanuta 2006

チリ南部の先住民族マプチェ人の昔話。美しい娘が、美しさを妬んだ意地悪な継母から戦士の骨で呪いをかけられ、顔をどくろに変えられてしまう。呪いを解くため、娘が別の戦士の骨を集めると骨は立派な戦士になった。アニメーション映画を基に絵本化した作品は、図案化された絵柄でマプチェ人の衣装や髪型、現地の動植物の特徴をよくとらえる。2006 年国際児童図書評議会オナーリスト賞絵画部門受賞。

\*: タイトルは参考訳です

## **カモメがおそう島 : 巨大石像物語**

ロベルト・ピウミーニ 作 ; 高島恵美子 訳 ; 末崎茂樹 絵

文研出版 1999 年

イースター島の名で知られるパスクア島に並んだ石の巨像(モアイ)はよく知られているが、その由来は未だ謎に包まれている。本書は、この謎に著者の想像を加えたフィクションである。島のリーダー、トウ・エマを妬んだ男たちは、ある日、彼を崖から突き落として島から追い出す。怒りに駆られたトウ・エマは、カモメを自在に操って復讐の機会を狙う。紹介時に、モアイの話をする手にとられやすいだろう。

## **アンデスの少女ミア : 希望や夢のスケッチブック**

マイケル・フォアマン 作；長田弘 訳  
BL出版 2009年

アンデスの麓、都会の廃品を売って生計を立てる村に住む少女ミアは、ある日、父の拾った子犬を探す途中、花畑を見つけた。そして、持ち帰った花を家で育て、町で売り始める。二度のケイト・グリーンウェイ賞を受賞したイギリス人の著者が、実在の人物をもとに書いた絵本。淡い色の水彩で描かれた絵は、アンデスの美しい自然と貧しい村の家々を対比させ、少女の明るい表情と暮らしぶりをよく伝える。

### うさぎのみみはなぜながい

北川民次 ふんとえ  
福音館書店 1962年

アステカの昔話。小さなうさぎが、神様に体を大きくして欲しいと願った。すると神様は、三匹の動物の皮を手に入れたら叶えてやると言う。うさぎは、知恵を絞り皮を持っていくが、神様は利口なうさぎの耳を持って大地に放り投げた。それでうさぎの耳が長くなったという由来譚。地味な色彩の絵だが、遠目がきき、集団の読み聞かせにも向く。作者の北川民治は、1914年に渡米後、メキシコで長年過ごし、帰国後に絵画を発表し、画家としての地位を確立した。

### クリスマスまであと九日：セシのポサダの日

マリー・ホール・エッツ、アウロラ・ラバスティダ 作；マリー・ホール・エッツ 画；たなべいすず 訳  
富山房 1974年

先住民の文化とスペイン移民の文化が混じり合い、独特の文化を形作っているメキシコを舞台にした絵本。「ポサダ」とは、クリスマス前の9日間に毎晩開かれる特別なパーティーのこと。小さな女の子セシが、生まれて初めてポサダをしてもらえることになり、その日を心待ちにする様子や、パーティーの準備のためにマーケットに行く様子などが丁寧に描かれている。

### ペルー・ボリビアのむかし話：インカにつたわる話

加藤隆浩 編訳  
偕成社 1989年

インカ帝国の子孫、ケチュア族とその近隣の民族の昔話集。ペルーやボリビアは、インカ帝国があったアンデス山地にある。著者が直接に聞き書きした昔話も含め、ペルー14話、ボリビア9話を収録する。みすばらしい姿の老人が神様だったという「黄金になった小麦粉」や先住民の正直さを伝える「石のスープ」など、短い話は読み聞かせにも使える。

国立国会図書館 国際子ども図書館  
児童サービス課 児童サービス企画係  
URL : <http://www.kodomo.go.jp/>